

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科
人体病理学・病理診断学講座
研究責任者： 後藤慎太郎

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 前補助化学療法施行膵管癌における病理組織学的治療奏功群/治療抵抗群の腫瘍免疫プロファイルに関する画像と病理の統合研究

研究の目的

膵がんにおいては、いまだ抗がん剤による治療後も治癒せず残るがん細胞が治療上の問題となっています。こうした抗がん剤の効きにくさ（これを治療抵抗性といいます）にどのような分子（たんぱく質）が含まれているのかを解明することで、新たな治療の糸口が見つかる可能性があります。また、このような治療が効きにくいがん細胞の有無を画像検査（CT と MRI）で事前に予測できれば、効率的な治療プログラムを組むことができます。本研究では、このような抗がん剤の治療抵抗性に関わる分子（たんぱく質）を見つけ出し、こうした分子を有するがん細胞の有無を予測できる新たな画像診断法の開発を目的とします。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2032 年 12 月 31 日

対象となる方 2022 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までの間、附属病院消化器外科科を受診し、膵がんと診断され、手術を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

当院に保管されている手術検体（病理標本）、CT 画像データ、当院のカルテに記録されている情報のうち、体重、腎機能について、標記研究のために利用します。

外部への試料・情報の提供

本研究は弘前大学内のみで行われ、外部へ試料・情報の提供することはありません。

手術で摘出された膵がんの病理標本、膵がんの放射線画像、および電子カルテに記載されている放射線画像の撮影条件に関わる臨床情報（体重や腎機能）を標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、膵がんの病理標本から化学療法の効果に関わるたんぱく質の分布を解析し

ます（遺伝子の解析は行いません）。さらに、膵がんの CT 画像を詳しく解析し、化学療法の効果に関わるたんぱく質の分布と比較します。

これらの試料および患者さんの情報は、本研究の実施施設である弘前大学に提供されます。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを仮名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科人体病理学・病理診断学講座 後藤慎太郎（助教） 〒036-8562 青森県弘前市在府町 5 電話番号: 0172-39-5029 FAX 0172-39-5030
-------	--